

個人情報保護に関する基本方針

2020年6月17日

有限会社 ケアブレーン

●個人情報取扱事業者とは

5000件以上の個人情報で構成される個人情報データベースを事業で利用する事業者のこと

●個人情報とは

①基本属性情報

例) 住所、氏名、生年月日、性別、メールアドレスなど

②センシティブ情報

例) 病歴、学歴、前科前歴、学業成績、年収、所得不動産、趣味、嗜好、商品購入履歴、思想、信条など

該当する事例	該当しない事例
<ul style="list-style-type: none"> 本人の名前 生年月日、連絡先 会社における職位や所属 本人が判別できる映像 特定の個人を識別できるメールアドレス 雇用管理情報 特定の個人を識別できる情報がなくても周知の情報を補って認識することにより個人を特定できる情報 職員名簿、電話帳等で公表されている情報 	<ul style="list-style-type: none"> 法人の団体そのものに関する情報 記号や数字等の文字列だけの個人を特定できないメールアドレス（ただし他の情報と容易に照合することにより個人を特定できれば個人情報となる） 特定の個人情報を識別することができない統計情報

●個人情報データベースとは

特定の個人情報をコンピュータまたはカルテ等で一定の規則（五十音順、年月日順など）で整理・分類したものを、目次や符号などを付けて他人にも容易に検索可能な常態にあるもの。

該当する事例	該当しない事例
<ul style="list-style-type: none"> 電子メールソフトに保管されているメールアドレス帳 ユーザーIDとユーザーが利用した取引についてのログ情報が保管されている電子ファイル 患者カードなど、氏名の五十音順に整理しファイルしているもの 	<ul style="list-style-type: none"> 回答済みアンケートで氏名、住所などで分類整理されていないもの

●個人情報取扱事業者が守らないといけないこと

利用目的の特定	<ul style="list-style-type: none"> 利用目的をできる限り特定しなければならない
利用目的による制限	<ul style="list-style-type: none"> 特定された利用目的の達成に必要な範囲を超えて取り扱ってはいけない
適正な取得	<ul style="list-style-type: none"> 不正な手段により収集してはいけない
取得に際しての利用目的通知	<ul style="list-style-type: none"> 個人情報を取得したときは、速やかに本人に通知、または公表しなければならない
正確性の確保	<ul style="list-style-type: none"> 利用目的の達成に必要な範囲で、個人データを正確な内容かつ最新の内容で保つよう努めなければならない <p>※個人データとは、個人情報データベースを構成する個人情報のこと</p>
安全性の確保	<ul style="list-style-type: none"> 個人データの漏洩、き損の防止のために必要かつ適切な措置を講じなければならない。 安全に個人データを管理するために、従事者、委託業者に対し必要かつ適切な監督をおこなわなければならない。
第三者提供の制限	<ul style="list-style-type: none"> あらかじめ本人の同意を得ないで他の事業者など第三者に個人データを提供してはならない。 本人の求めに応じて第三者提供を停止することとしている場合、一定の事項をあらかじめ通知しているときは、本人の同意を得ずに第三者提供をすることが可能。 委託の場合、合併などの場合、一定事項の通知を行い特定の者と共同する場合は第三者提供とはみなされない。
開示、訂正、利用停止など	<ul style="list-style-type: none"> 保有個人データの利用目的、開示などに必要な手続き、苦情の申し出先などについて本人の知り得る状態におかななければならない。 保有個人データを法の義務に違反して取り扱っているときは本人からの求めに応じて利用の停止などを行わなければならない。 <p>※保有個人データとは、個人データのうち開示などの権限を有し6ヶ月以上にわたって保有する個人データのこと。</p>
苦情の処理	<ul style="list-style-type: none"> 本人から苦情などの申し出があった場合は、適切かつ迅速な処理に努めなければならない 苦情受付窓口の設置、苦情処理手順の策定など必要な体制を整備しなければならない。